

# 企画部

## 組織目標



企画部は、秘書広報課・企画課（未来共創政策推進室・デジタル行政推進室）・情報政策課・財政課で構成され、秘書、広報、未来構想の実現に向けた市勢振興の企画及び調査、各部課の調整、産官学連携、行政改革・DXの推進、情報政策、予算に関する施策に取り組んでいます。

企画部の目標（令和8年度）	企画部長 河村 香代子
<b>【部の基本方向】</b> 第6次入間市総合計画の目標である「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」の実現に向けた施策・事業の総合調整を行うとともに、次期総合計画の策定を見据え、多様化する行政需要や新たな政策課題に的確に対応します。	
<b>【部の重点方針】</b> 1 第6次入間市総合計画後期基本計画の着実な推進を図るとともに、次期総合計画の策定を進め、社会変化を見据えた計画的かつ効率的な行政運営を推進します。 2 若い職員をはじめとするすべての職員が活躍できる、明るく活力ある職場環境づくりに努め、各課の連携により業務を着実に推進します。	
<b>【課の目標（達成すべき目標）】</b>  <b>【秘書広報課】</b> 1 入間市が還暦を迎える令和8年11月1日（日）に、市の新たなスタートを祝うため、市制施行60周年記念式典を開催し、多くの方々に未来への新たな始まりを迎えた節目であることを実感していただけるようにします。 広報活動においては、市公式ホームページを核としながら、広報誌、SNS、入間ケーブルテレビ、エフエム茶笛など、それぞれの特性を活かした情報発信を展開します。特に、生成AIなどデジタル技術の進歩を踏まえた広報戦略見直しの本格的な検討に着手します。  <b>【企画課】</b> 2 次期入間市総合計画を実現させるための効果的な体制整備に向けて、組織機構見直し方針に基づき、関係例規の整備をはじめとする調整を進めることにより、新組織体制への移行を確実かつ円滑に行います。また、効率的かつ効果的な組織運営を可能とするため、定員・職制の	<b>【目標の達成度合】</b>

適正な管理に取り組みます。

【未来共創政策推進室】



- 3 第6次総合計画・後期基本計画の進行管理を行うとともに、令和9年度を始期とする次期総合計画・前期基本計画の策定を進めます。併せて、第2期SDGs未来都市計画の着実な推進を図ります。また、「未来の原風景を創造する新たなスタート」をテーマに、これからの100年を創る新たな出発点として、市制施行60周年記念事業を実施します。記念事業を通じて、市民と共に資産の再定義及び新たな価値創造を行います。また、「いるま未来共創ラボ」の運用等により、官民連携による共創のまちづくりを推進します。

【デジタル行政推進室】



- 4 持続可能なまちづくりのため、行政改革とDXの連動をさらに深化させる入間市行政改革大綱・入間市DXビジョン及び次期実行計画を策定し、市役所業務全体の効率化を進めます。また、新庁舎を見据えたフロントヤード改革に取り組み、「行かなくても済む市役所」の実現に向け、引き続き行政手続のオンライン化を進めるとともに、庁舎においても「書かない窓口」を導入し、窓口手続の負担軽減を図ります（令和8年度中に10,400件の手続で活用）。

【情報政策課】



- 5 市民から信頼される行政運営を目指し、全職員を対象とした情報セキュリティ研修や内部監査を実施します。これにより職員の情報セキュリティ意識の向上を図り、一人ひとりが高い意識を持って適切に行動できるよう取り組んでいきます。

【財政課】



- 6 事業の必要性、緊急性、優先性を考慮した予算の管理、編成事務を通して財政の健全性を維持します。また、安定した財政運営を行うため、標準財政規模（令和7年度：約293億円）の約10%を超える財政調整基金の年度末残高の確保に努めます。